

第百二聖詠 我が霊よ主を讃め揚げよ

作曲：大主教ニコノル

わがたましいよ主をほ讃めあげよ 主よなんじはあがめほめ

らる わがたましいよ主をほ讃めあげよ わがこころよそのせい

なるな名を *p*ほめあげよ わがたましいよ主をほ讃めあげよ

そのすべてのおん恩をわするるなか れ か彼れはなんじがすべての

ふほう
不法をゆるし なんじがすべてのやまいをいやす

mf
なんじのいのちをほろびより ^す救くい あわれみとめぐみを
p

mf
なんじにこうむらせ よきものにて爾 ^{なんじ}のぞみに

あかしむ なんじがわかがることわしのごとく

わがたましいよ主を讃^ほめあげよ わがこころよその

せいな^なる名を ほめあげよ 主よなんじはあがめほめらる

ユックリ rit.

王日のアンティフォン
《第二アンティフォン》

(3)

第百四十五聖詠

わがたま しいや主をほめあげよ われ^{いのち}生命あるうち

わがかみにうたわん ぼくはくを たのむなかれ

すくあたひとこたの 救う能わざる人の子を恃むなかれ か^{いきた}れ息絶ゆればつちにかえり

かれが^{はか}謀る所は^{ところ}その日に消ゆ イア コーフのかみに

(4)

たす ひと
佑けらるる人はさいわいなり

しゅ てんち うみ
主か み天地と海と

そのうちにあるものをつくり

ながく ^{しんじつ} 眞実をまもり

せめら

るる者 ^{もの} のためにさばきをなし

う ^{もの} りる者に

かて あた

糧を与うる主をたのむ人はさいわいなり

ひと

めしうど

主は囚人をとき

(5)

めしいの目をひらき かがめられし者を起こし義人をあいす

主は旅人を護り^{みなしご}孤子とやもめをたすけ ^{ふけんしゃ}不虔者の途を^{みち}くつがえす

主は永遠に王とならん シオンよ爾の神は世々に王とならん

光榮は父と子と聖神に帰すいまも何時も世々にアミン

● ※ 単音聖歌譜 p.5 の「かみの独生の子…」へ続く
(赤本)

光栄は… 神の独生の子

光 栄 は 父 と 子 と 聖 神 に 帰 す い ま も い つ も 世 々 に ア ミ ン

か み どく せい こ なら
神 の 独 生 の 子 並 び に こ と ば や し せ ぎ る 者 に し て

す く あ ま せい しょうしんじょえいていどうじょ
我 等 を 救 わ ん が た め 甘 ん じ て 聖 な る 生 神 女 永 貞 童 女 マ リ ヤ よ り

み と か み せい か じゅうじ か くぎ
身 を 取 り 神 の 性 を 変 え ず し て 人 と な り 十 字 架 に 釘 う た れ

死を^{もつ}以て死を^ふ踏み^{やぶ}破りしハリストスかみや

せいさんしゃ
聖三者のいつとして せいしん とも さんえい
父と聖神と共に讃栄せらるるの主や

われらをすくいたまえ

【 復活のトロパリ 第8調 】

めぐみふかきしゅよ、なんぢはたかきより
 恵 深 主 爾 高

くだり、みっかのほうむりをうけて、
 降 三日 葬 受

われらをくるしみよりときたまえり、
 我等 苦 釋 給

わがいのちとふくかつなるしゅよ、こう
 我 生命 復活 主 光

えいはなんぢにきす。
 榮 爾 歸

【 十字架擧榮祭のトロパリ 第1調 】

しゅよ、なんぢのたみをすくい、なんぢ
 主 爾 民 救 爾

のぎょうにふくをくだせ、わがくにに
 業 福 降 我 國

さいわいをあたえ、なんぢのじゅうじかに
 福 與 爾 十 字 架

てなんぢのすまいをまもりたまえ。
 爾 住 處 守 給

【 復活のコンダク 第8調 】

こうえいはちちとことせいしんにきす。
 光 榮 父 子 聖 神 歸

だ い じ ん じ な る し ゆ よ 、 な ん ぢ は は か よ り ふ く
 大 仁 慈 主 爾 墓 復
 か つ し て 、 し せ し も の を お こ し 、 ア
 活 死 者 興
 ダ ム を ふ く か つ せ し め た ま え り 。 エ ヴ ア は な ん
 復 活 給 え り 爾
 ぢ の ふ く か つ を た の し み 、 せ か い の は て
 復 活 樂 世 界 極
 は な ん ぢ が し よ り お き た る を い わ う 。
 爾 死 興 祝

【 十字架擧榮祭のコンダク 第4調 】

い ま も い つ う も よ よ に 、 ア ミ ン 。
 今 何 時 世 世
 あ ま ん じ て じ ゅ う じ か に あ げ ら れ し リ ス ト ス か み
 甘 十 字 架 擧 神
 よ 、 な ん ぢ が ど う め い の あ ら た な る す ま い に
 爾 同 名 新 住 處
 な ん ぢ の じ れ ん を た ま え 、 な ん ぢ の ち か ら を
 爾 慈 憐 賜 爾 力
 も お っ て わ が く に を た の し ま し め て て き
 以 我 國 樂 敵
 に か た し め た ま え 、 わ れ ら は な ん ぢ の た 援
 勝 給 え 我 等 爾 援

す け と し て へ い あ ん の ぶ き 、 か た れ ぬ は
助 平 安 武 器 勝 旗
た を た も て ば な り 。
有

司祭) (黙誦： ^{せい} 聖なる神、 ^{かみ} 聖者の中に ^{せいじゃ} 息い、 ^{うち} セラフィムより ^{いこ} 聖三の聲を以て歌頌せられ、
^{さんえい} ヘルヴィムより讃榮せられ、 ^{ことごと} 悉くの天軍より ^{てんぐん} 伏拜せられ、 ^{ふくはい} 萬物を無より ^{ばんぶつ} 有と ^む ^{ゆう}
なし、 ^{ひと} 人を ^{なんぢ} 爾の像と ^{そう} 肖とに依りて ^{しょう} 造り、 ^よ 爾が ^{つく} 諸の ^{なんぢ} 賜を以て之を ^{もろもろ} 飾り、
^{ねが} 願う者に ^{もの} 智慧と ^{ちえ} 明悟とを ^{めいご} 與え、 ^{あた} 罪を行 ^{つみ} う者を ^{おこな} 棄てずして、 ^{もの} 其救の爲に ^す 痛悔
を立て、 ^た 我等卑しくして ^{われらいや} 不當なる ^{ふとう} 爾の ^{なんぢ} 諸僕を、 ^{しよぼく} 此の時に於ても、 ^こ 爾が ^{とき} 聖な
る ^{さいだん} 祭壇の ^{こうえい} 光榮の ^{まえ} 前に立ちて、 ^た 爾に ^{なんぢ} 當然の ^{とうぜん} 伏拜讃榮を ^{ふくはいさんえい} 奉るに堪うる者 ^た と
なしし ^{しゆさい} 主宰よ、 ^{なんぢ} 爾親ら ^{われら} 我等 ^{ざいにん} 罪人の ^{くち} 口よりも ^{せいさん} 聖三の ^{うた} 歌を受け、 ^う 爾の ^{なんぢ} 仁慈を
^{もつ} 以て我等に ^{われら} 臨み、 ^{のぞ} 我等に ^{われら} 凡そ ^{およ} 自由と ^{じゆう} 自由ならざる ^{じゆう} 罪を ^{つみ} 赦し、 ^{ゆる} 我が ^わ 靈と ^{たましい} 體と
を ^{せい} 聖にし、 ^{われら} 我等に ^{しょうがいぜんこう} 生涯善功を以て ^{もつ} 爾に ^{なんぢ} 務むるを ^{つと} 得せしめ ^え 給え、 ^{たま} 聖なる
^{しょうしんぢよ} 生神女と ^{こせい} 古世より ^{なんぢ} 爾の ^{よろこび} 喜を爲しし ^な 諸聖人との ^{しよせいじん} 祈禱に依りてなり、)

司祭) ^{けだしわ} 蓋我が ^{かみ} 神よ、 ^{なんぢ} 爾は ^{せい} 聖なり、 ^{われら} 我等 ^{こうえい} 光榮を ^{なんぢ} 爾 ^{ちち} 父と ^こ 子と ^{せいしん} 聖神に ^{けん} 献ず、 ^{いま} 今も ^{いつ} 何時も ^{よよ} 世世
に、

ア ミ ン。

【 聖三祝文 】

せ い な る か み 、 せ い な る ゆ う き 、 せ い な る
聖 神 聖 勇 毅 聖
じょう せいの ものよ、 われら を あわれ め
常 生 者 我 等 憐

アリルイヤ

Греческий раснев

The first system of the musical score consists of two staves: a treble clef staff and a bass clef staff. The key signature is one sharp (F#). The melody in the treble staff is written in a style characteristic of Greek folk music, featuring a mix of eighth and sixteenth notes. The lyrics 'アリルイヤ' are written below the treble staff. The first two measures of the treble staff are circled. The bass staff provides a simple accompaniment with quarter and eighth notes.

The second system of the musical score continues the melody and accompaniment from the first system. It also consists of two staves: a treble clef staff and a bass clef staff. The key signature remains one sharp (F#). The melody in the treble staff continues with the lyrics 'ヤアリルイヤ'. The first measure of the treble staff is circled. The bass staff continues with its accompaniment.

ヘルヴィムの歌(一番)

作曲：ボルトニャンスキー
訳：ヤコフ・チハイ

1.

われら つつしんで ヘルヴィムに のっとり

Detailed description: This system contains the first line of music. It features a treble clef staff with a key signature of one flat (B-flat) and a common time signature. The melody is written in a simple, folk-like style. Below the treble staff is a bass clef staff with a similar accompaniment. The lyrics are written in Japanese characters between the two staves.

2.

ヘルヴィムに のっとり せい^{さん}のうたを

Detailed description: This system contains the second line of music. It continues the melody from the first system. The lyrics are written in Japanese characters between the two staves. A fermata is placed over the final note of the second measure.

いのちをほどこすの せい^{さん}しゃに たてまつりて

Detailed description: This system contains the third line of music. It continues the melody. The lyrics are written in Japanese characters between the two staves. A fermata is placed over the final note of the second measure.

3.

このよのつとめをしりぞくべし しりぞくべし

Detailed description: This system contains the fourth line of music. It continues the melody. The lyrics are written in Japanese characters between the two staves. A fermata is placed over the final note of the second measure.

ア ミン か み の な み い る つ か い は 見 え ず し て

に な い た て ま つ る 万 ^{ぼん} ぶ つ の つ か さ を お い た だ け ば な り

ア リ ル イ ヤ ア リ ル イ ヤ ア リ ル イ ヤ ア リ ル イ ヤ

天主經

作曲：リムスキー・コルサコフ
訳：武岡武夫

てん
天にいます われらのちち よ ^{ねが}願わくは ^{なんじ}汝の ^な名は

^{せい}聖と ^{なんじ}せられ ^{なんじ}汝のくには ^{むね}きたり ^{てん}なんじの ^{おこな}旨は ^{ごと}天に行わるるが如く

^ち地にも ^{おこな}われん ^{にちよう}わが ^{かて}日用の ^{ごんにちわれら}糧を ^{あた}今日我等に ^え与えたま

^{もの}われら ^{われら}においめある者を我等ゆるすがごとく

われらのおいめをゆるしたまえ 　 われらをいぢないに

みちびか 　 ず 　 ^{きょうあく} 　 なおわれらを凶悪よりすくいたまえ

天主經 (3)

司 主宰や、我等に、^{いさみ}勇を以って、^え罪を獲ずして、^{あえ}敢て、^{かみ}爾天の神・父を呼びて言うを賜え

ケドロフ 作曲
テイト加藤直四郎 編曲

pp

天にいますわれ等のちちや

ねがわくはなんじの名はせいとせられ

poco allargando *pp a tempo*

なんじのくには来たり なんじのむねは天に

おこなわるるがごとく地にもおこなわれん

cresc. *allargando*

我が日用の糧^{かて}を今日われ等^{こんにち}にあたえたまえ

われ等においめあるものをわれ等ゆるすがごとく

われ等のおいめをゆるしたまえ

p *p*

われ等をいざないにみちびかず

pp *rit.*

なおわれ等を凶あくよりすくいたまえ

主日 領聖詞

エカテリナ加藤

てん しょう ほ い
天 より 主 を 讃 め あげよ 至 と た か き に

The first system of the hymn consists of two staves. The upper staff is in treble clef and the lower staff is in bass clef. The key signature has one flat (B-flat). The melody is written in a simple, homophonic style. The lyrics are written below the notes.

か れ を ほ め あ げ よ ア リ ル イ ヤ

The second system of the hymn consists of two staves. The upper staff is in treble clef and the lower staff is in bass clef. The key signature has one flat (B-flat). The melody continues from the first system. The lyrics are written below the notes.

ア リ ル イ ヤ ア リ ル イ ヤ

The third system of the hymn consists of two staves. The upper staff is in treble clef and the lower staff is in bass clef. The key signature has one flat (B-flat). The melody continues from the second system. The lyrics are written below the notes.

No. 2 1

МНОГАЯ ЛЕТА

И. Харри
(в "узком" расположении)

Musical score for the first system of the song "МНОГАЯ ЛЕТА". It consists of two staves: a treble clef staff and a bass clef staff. The key signature is one sharp (F#) and the time signature is 3/4. The melody is written in the treble staff, and the bass line is in the bass staff. The lyrics are written below the treble staff.

Мно- га- я ле- та, мно- га- я ле- та,
ムノ ガ ヤ レ - タ ムノ ガ ヤ レ - タ

Musical score for the second system of the song "МНОГАЯ ЛЕТА". It consists of two staves: a treble clef staff and a bass clef staff. The key signature is one sharp (F#) and the time signature is 3/4. The melody is written in the treble staff, and the bass line is in the bass staff. The lyrics are written below the treble staff. The system ends with a double bar line.

мно- га- я, мно- га- я ле- та!
ムノ ガ ヤ ムノ ガ ヤ レ - タ

No. 2 4

МНОГАЯ ЛЕТА

Л. Жбанова

Музыкальный фрагмент в 3/4 такте, тональность ре мажор. Включает ноты для голоса и фортепиано. Текст: МНО- га- я ле- та, МНО- га- я ле- та, МНО- га- я ле- та, МНО- га- я ле- та.

Музыкальный фрагмент в 3/4 такте, тональность ре мажор. Включает ноты для голоса и фортепиано. Текст: МНО- га- я, МНО- га- я ле- та! МНО- га- я ле- та!

№. 3 2

МНОГАЯ ЛЕТА

Неизвестного автора

Musical score for the first system of the song "МНОГАЯ ЛЕТА". It consists of two staves: a treble clef staff and a bass clef staff. The key signature is one sharp (F#). The melody is written in the treble staff, and the bass line is in the bass staff. The lyrics are written below the treble staff.

Мно- га- я ле- та, мно- га- я ле- та,
ムノ ガ ヤ レ - タ ムノ ガ ヤ レ - タ

Musical score for the second system of the song "МНОГАЯ ЛЕТА". It consists of two staves: a treble clef staff and a bass clef staff. The key signature is one sharp (F#). The melody is written in the treble staff, and the bass line is in the bass staff. The lyrics are written below the treble staff.

Мно- га- я ле- та!
ムノ ガ ヤ レ - タ

☺